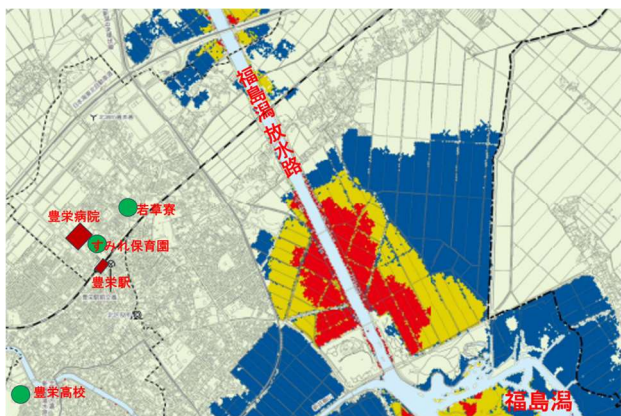


元日に起きた、能登半島地震では、当院・当地は大きな揺れを体感しましたが、震度は4で、建物の被害は皆無でした。しかし、津波警報が発せられた事で、当院に地元の住民200名強の方が避難にいられました。当院の対応として、多目的ホールなどを開放し、その後周囲の避難所が開設されたことを確認したうえ、避難所の地図をお渡し、そちらに移動していただきました。ちなみに医療提供が必要な方は2名のみでした(頻回な吸痰、嘔吐に対する制吐剤投与)。なおハザードマップを見ると、当院も、**当院周囲の避難所に指定されているすみれ保育園、若草寮、豊栄高校(下図、●)**はいずれも津波の危険はありません(下図;当院周囲の津波ハザードマップ、白地の場所は津波の危険なし)。私としては、18時頃、よほど避難住民の方に、当院の備蓄食料など提供することも考えましたが、隣のセブンイレブンも通常営業を行っていたので、思いとどまりました。



なお、新潟市の避難所のいくつかの場所で、避難所の開設が待ちきれず、ガラス窓を割って、鍵を開け、侵入した住民がいたようですが、非常時とはいえこうした行為は犯罪です。また、能登半島の避難所では、自動販売機をバールでこじ開け、中の飲料を取り出した方もいたという事ですが、これもやはり犯罪で(起訴されるとは思いませんが)、自販

機メーカーは損害賠償請求を行ったようです。

北区民の健康の特徴

北区民は脳内出血で亡くなる人が多い！

新潟市は全国に比べて男女とも**脳血管疾患の死亡率が高**なっています。なかでも脳内出血の死亡率は全区でも群を抜いて高く、注意が必要です。北区ではほかにも、**胃がんの死亡率が高**なっています。

【脳内出血の標準化死亡率】

【脳内出血】
脳の血管が破れる病気。脳細胞が壊れ、意識がなくなったり、半身麻痺、言語障がい、認知機能の低下などの症状が現れます。寝たきりになったり、亡くなる危険が高い病気です。

【脳内出血の要因は…?】
脳内出血を引き起こす要因の一つとして**「高血圧」**があります。高血圧は動脈硬化を進め、血管を傷めます。

【脳内出血を予防するために】
予防するために、まずは自分は血圧が高くないか、ほかにも高血糖や脂質異常など動脈硬化につながる異常はないか、健診を受けて確認してみましょう。

北区は「脳内出血の死亡率」市内ワースト1位！

北区は「血圧が高い人の割合」市内ワースト1位！

北区は「特定健診を受けた人の割合」市内ワースト1位！

健康の力は予防です！
病気を未然に防ぐため、特定健診・がん検診を受けましょう！

詳しくは次ページへ

新潟県厚生連の広報誌“支えに”の3月号に当院の対談が掲載される予定です。“オール新潟市北区で地域包括ケアシステムを作る”という表題で、山口クリニック・山口院長、松田内科呼吸器科クリニック・松田院長、新潟市北区健康福祉課・高山課長と対談しました。広報誌には掲載されませんが、高山課長が北区の資料数点を持参されました。その一つが上記です。新潟市北区は、脳出血の死亡率が新潟市の区の中でワースト1位、血圧が高い人の割合もワースト1位でした。特定健診を受けた人の割合もワースト1位であり、“北区民は特定健診など積極的に受診し健康状態のチェックを行い、必要に応じて医療・治療を受けて欲しい”との発言がありました。なお、特定健診の際に、**新潟市北区のみで行っている「もの忘れ検診」**も希望者は受けられますので、お申込みお願いします。

発行責任者・文責：豊栄病院病院長 宮島 透